

# インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」・第9回実証試験の開催概要

- インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」は、地方自治体（施設管理者）が抱える施設管理に関する課題に対し、民間事業者が課題解決に繋がる技術等を紹介する**実証試験**を実施しました。
- 第9回実証試験では、広島県三次市から提供されたニーズ「橋梁補修の補修条件を踏まえた適切な技術の選択方法」に対して、民間企業（阿南電機(株)）が提供技術の説明を行った後に、現地において試験施工を行いました。
- 実証試験を受け、三次市からは、小規模の橋梁を含む多くの橋梁を管理しており、積極的に新技術を活用していきたい旨のコメントを頂きました。

■日時：令和6年1月16日（火）14:00～16:00 ■場所：本郷橋（広島県三次市作木町三洲地先）  
 ■参加者：13名【施設管理者 三次市：4名 / 民間企業（阿南電機(株)）：2名 / インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」企画委員：5名 / 中国地方整備局：2名】その他、施工者（(有)アイ建設）

○開会挨拶



インフラメンテナンス国民会議  
フォーラムリーダー 藤井 堅  
(広島大学名誉教授)

○ニーズ提供者挨拶



三次市 建設部 土木課  
係長 藤川 賢治

○閉会挨拶



中国地方整備局 企画部  
事業調整官 桑嶋 弘志

■技術名「鋼構造物を主体とした長耐久性防水・防食工法 <ULTRA-WAX-TAPE> : 阿南電機(株)」  
 ◎製品・技術の説明、現地での試験施工

<製品、技術の説明>



阿南電機(株) 営業1部より




<ULTRA-WAX-TAPE>      <プライマー>  
 使用材料の説明

<現地での施工（施工箇所：支承）>



ケレン（3種ケレン程度）



ULTRA-WAX-TAPE貼付



プライマー塗布



施工完了

施設管理者が抱える  
維持管理の課題収集

↓  
 ピッチイベント  
 (課題を解決する技術の提案会)  
 第9回：R5.6.30

↓  
 実用化を検証する  
**実証試験**  
 第9回：R6.1.16

↓  
 マッチング  
 (社会実装)

